

要約練習の取り組み方

評論・随想の要旨は、**基礎講義1**で述べたように、本文全体の「主題」「定義」「論拠」「結論」について、客観的速読法でマーキングした箇所をもとにして再構成するとよい。

主題……本文において論じられている中心テーマ

定義……主題や他の重要な語句の本文中での意味

論拠……筆者が主題について結論を導き出した判断根拠

結論……主題についての筆者の判断・論拠から導かれる帰結

小説の場合は、**梗概（あらすじ）**に**基礎講義2**で学んだ重要なキーワード（心情表現・人物像とシチュエーション）を組み込んでまとめる。

最初から制限字数内にまとめようとしなくてもよい。マーキング箇所を見比べて、同内容の箇所や要旨に組み込みにくい箇所を簡略化したり省略したりして、少し多めの字数でもよいので、まずは書いてみよう。そのうえで、字数のはみ出す分をどう短縮するか、さらに考えながら清書してみるとよい。その後で、本書の要旨要約・全体把握と比べて違うところをチェックし、もう一度本文を読解してから書いてみると練習の成果が出やすい。

また、各自の志望大学の記述解答字数に合わせて要約字数を変更してもらってもよい。

的確な要約は、基礎学力を修得した成果として可能となることを忘れないようにして練習に取り組もう。